

教科名	中学校 社会科 地理的分野	学 年	第2学年
単元名	第3章 日本の諸地域	生徒数	40名
	3節 近畿地方—都市・農村の変化と人々の暮らし—	授業者	梅原 翔太
1 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。</li> <li>・人口と都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解する。</li> <li>・近畿地方において人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目し、ほかの事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</li> </ul>			
2 単元の観点別評価規準			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>・人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方において、人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもの育成に向けた手立て			
(1) 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最後に「自分たちの住む町に起こり得ることを予想し対策を考える」という探究テーマを設定し、タブレット端末、教科書などの探究手段子どもが選択できるようにする。</li> <li>・子どもが問題解決に向けて見通しをもって取り組むことができるようにする。</li> </ul>			
(2) 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3人を1グループに設定しそれぞれが役割をもって探究していくとともに、多面的・多角的に表現・交流できる場を設定する。</li> <li>・それぞれ班の考えをレポートにまとめ、ほかのグループが感じた意見を書き込める欄を設定し、意見を広く聞くことのできる場を設定する。</li> </ul>			
(3) 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じグループや別グループの子どもの意見などを交流する場面を通して、自分の考えを再形成するとともに、他者からの視点を含めた見やすく理解しやすい表現の仕方に推敲する時間を設定する。</li> </ul>			
(4) 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすさ、理解のしやすさなどの観点から図やグラフ、写真なども取り入れながら意見交流する場を設定する。</li> <li>・レポート発表後に、今回の反省点を見付ける活動を通して事後の学習につなげていく。</li> </ul>			
4 単元で提示する振り返りの視点			
① 分かったことやできるようになったこと（学びの自覚）			
② 今後の学習で取り組みたいこと（学びの見通し）			
⑤ 単元の学び（単元全体）			
⑪ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する（自己の成長の自覚）			
⑬ 友達の書いた振り返りを読んで気付いたことや考えたことを生かす（他者の振り返りを自分の学びに生かす）			

5 単元の指導と評価の計画（全6時間）			
時間	学習課題（◆） 主な学習活動（○）（対話の視点）	振り返りの視点	評価の観点【】 評価規準
1	<p>◆近畿地方の特色とは？</p> <p>○ 近畿地方の特色について、地形図や人口分布図などの資料から概観し、ノートにまとめる。</p> <p>○ 「自分たちの住む町に起こり得ることを予想し対策を考える」という探究テーマを立て、単元の見通しをもつ。</p> <p style="text-align: right;">（見通す）</p>	① ②	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北で大きく異なる地形や気候、盛んな工業や商業、中央部に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。（ノート）</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口や都市・村落を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究しようとしている。（ノート、発言）</li> </ul>
2	<p>◆近畿地方の都市の形成のされ方とは？</p> <p>○ 近畿地方の大都市圏の成り立ちについて、地図や写真などの資料を通して理解する。</p> <p>○ 大阪臨海部の工業の特色を捉え、大都市における工業の課題について考察し、ノートにまとめる。</p>	① ②	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市から神戸市にかけての地域は、私鉄によってまちづくりが進んだことを理解し、その知識を身に付けている。（ノート）</li> </ul>
3	<p>◆近畿地方の都市の課題とは？</p> <p>○ 近畿地方の都市の発展や、開発とその課題について地図や写真などを使って理解する。</p> <p>○ 近畿地方の古都などに見られる伝統的な文化、歴史的な景観の保存と開発について、調和という視点から考察し、ノートにまとめる。</p> <p style="text-align: right;">（関係付ける）</p>	① ⑤	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市などで大規模な開発が行われてきたこととその課題を、地図や写真を使って読み取っている。（ノート）</li> </ul>
4	<p>◆近畿地方の農村の課題とは？</p> <p>○ 地図を通して過疎地域が都市から離れた山間部や離島に分布していることを理解する。</p> <p>○ 過疎地域の対策について、都市部との交流と関連付けて考察し、レポートにまとめる。</p> <p style="text-align: right;">（理由付ける）</p>	① ②	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎地域の対策について、都市部との交流と関連付けて考察し、表現している。（レポート）</li> </ul>
5 ・ 6	<p>◆探究課題「自分たちの住む町に起こり得ることを予想し対策を考える」</p> <p>○ 近畿地方で既習した事項を基に、自分たちの住む町に今後起こり得ることを分析・予想し、対策をレポートにまとめる。</p> <p style="text-align: right;">（関連付ける）</p>	① ⑤ ⑪ ⑬	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住む町はどの市町村から影響を受けどのような未来が待っているのかを具体的に表現するとともに、有効な対策を見出し、分かりやすく表現している。（レポート）</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住む町について、今後起こり得ることを分析・予想し、対策を主体的に追究しようとしている。（レポート）</li> </ul>